

## 第 2 3 回田原市男女共同参画推進懇話会 議事要旨

1 日 時	平成 2 6 年 1 0 月 1 0 日 (金) 10:00~11:55
2 場 所	田原市役所南庁舎 4 階 政策会議室
3 出席者	<p>&lt;委 員&gt;河合 熙人 会長、森下静子副会長、菊池邦子、北野谷充香子、大岩澄代、石川妙美、中村匡、田中剛</p> <p>(欠席者：三浦大輔、渡会里美、中神信明、吉武正康、太田司、小久保満晴、榎本明美、加藤昌高、大竹正章、土井真紀江、宮本孝子、永田みよ江、平野利依、鈴木京子)</p> <p>&lt;オブザーバー&gt;武田圭太</p> <p>&lt;事務局&gt;鈴木市民協働課長、彦坂副主幹、仲井主事補</p>
4 議事録署名者	北野谷充香子、大岩澄代
5 議 題	<p>(1) 各委員の取組状況・情報提供</p> <p>(2) 第 7 回男女共同参画フェスティバル開催報告</p> <p>(3) 平成 2 7 年度の市の男女共同参画推進施策について</p> <p>(4) 意見交換</p> <p style="padding-left: 2em;">「地域活動における男女共同参画～わたしのまちの男女共同参画～」</p> <p>(5) 市民提案型委託制度【テーマ提示型】「男女共同参画啓発事業」の実施方針について</p>

### 会議内容要旨

#### (1) 各委員の取組状況・情報提供【資料 1】(各委員)

- ・ 吉本副知事をお呼びして、パネルディスカッションを行った。県の男女共同参画施策等についてもお話しいただいた。別の講座では、高野史枝氏と映画鑑賞を行い、女性の気づき、高齢期を生きる女性の感性についてお話をいただいた。
- ・ 校区によって、団体員がコミュニティへの参加をしているところがある。コミュニティに参加しないならしないで楽し、参加をすれば、他団体の話が聞けたり、様子がわかる。一長一短あるなど感じた。
- ・ 家族経営の農家はどうしても女性の方に負担がかかってくる場合が多いので、家族協定で、仕事の役割分担をきちんと行い、少しでも負担を軽減していこうと進めている。
- ・ 男女共同参画フェスティバルで使用した DVD「男女共同参画の視点での避難所づくり」は、小さな集会から大きな集会に、また、団体の学習会や役員座談会・グループのあつまり・NPO活動・職場での防災講座等、幅広く利用できる。
- ・ 1 1 月 2 3 日に混声合唱団の定期演奏会がある。男性と女性がお互いの声を聞きあい、ハーモニーを作っている様子を見に来てほしい。
- ・ 学友協会の懇談会において、行政対民間という縦線で動いていくのをやめよう、文化芸術の分野においても、民間に主体性を持たせるような体制を作ってほしいと発言した。

## (2) 第7回男女共同参画フェスティバル開催報告【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】

(説明：事務局)

- ・第7回男女共同参画フェスティバル開催状況について、資料により報告。

## (3) 平成27年度の市の男女共同参画推進施策について【資料3】(説明：中村委員)

- ・平成27年度の市の男女共同参画施策について、資料5により説明。

## (4) 意見交換

### 「地域活動における男女共同参画～わたしのまちの男女共同参画～」

- 「女性が輝く社会」「女性が活躍する社会」ということをどういう意味で言っているか。結果的には社会にとって非常に有用な資源にもなるし、還元するものにもなるが、ひとりひとりが自分にとって納得するものを一生懸命やることができる、そういった社会になる、その大前提というものがきちんとないと、大いなるもののために、結果としてすごく役に立って活躍してもらうんだということが先行してしまうと、実は何のメリットもなく、結果的には得られるものがないということになりやすい。
- 神事等になると、女性が参加できない部分もたくさんある。時代の流れと共に、必要に迫られれば変わっていくが、根本的に、神事や伝統といったところと男女共同参画とどのように折り合いをつけるか。どのように捉えたらいいのかと思う。
- 「文化」という言葉で集約されていることがたくさんある。女性が参画することによって、より良くなったと既成事実として生まれている部分が多くあるが、理念を持って施策を打っていくことで、長期的に見てしっかりしたものになるのではないか。
- 国の施策と私たちが現実やっていることの違和感が出てきている。アジアなどの外国人を研修生として雇っているが、研修生を使わないと農業や福祉施設が成り立たない、日本人を雇うと給料が高いという。研修生をやめれば女性をもっと働ける場所があるのに、研修生を雇って低賃金を維持している。
- 介護職は給料が低く、きちんと就職してくれる人が少ない。正規雇用されない若者が多いと言うが、中小企業、福祉法人が正規雇用で一生懸命募集をかけても応募がない。就職をしようと思われる方の中にも、男たるものとか、大学を出た自分の立場ではという形で、役割と言うか、私が勤めなければいけない役割としてはこの仕事はとか、女性ならいいかもしれないが男性がこの仕事に就くのはとか、何かそういった感覚があるのではないかと思う。
- 今の女子学生達は、望めばいわゆる社会の一線に出て働けるようなところに行ける可能性が高いと思うが、逆に選択肢が広がったときに「子どもができたら一旦仕事をやめて、再就職もできるからいいよね」というふうに考えるのかと驚いた。

## (5) 市民提案型委託制度【テーマ提示型】「男女共同参画啓発事業」の実施方針について

【資料4】(説明：事務局)

### 《決定事項》

- ・テーマを設定し、広く再度募集を行う
- ・テーマ「避難所設営訓練等」

## (6) その他

○今後の予定

- ・第24回懇話会平成27年3月頃

### 配布資料

【資料2-1】第7回男女共同参画フェスティバル開催報告

【資料2-2】第7回男女共同参画フェスティバル出展者アンケート結果

【資料2-3】第7回男女共同参画フェスティバル来場者アンケート結果

【資料3】男女共同参画推進プランに基づく平成27年度実施予定事業

### 新任委員の方のみ配布

【冊子】田原市男女共同参画推進プラン

### 当日配布資料

配席表・委員名簿

【資料1】各委員の取組状況・情報提供

【資料4】市民提案型委託制度【テーマ提示型】「男女共同参画啓発事業」の実施方針(案)